

八丈島 水産だより

12月号

2008



ストレリチア畑



八丈富士とイソギク

今年もあと一ヶ月、八丈富士の裾野にはイソギクが、畑には、八丈町のシンボル、ストレリチアが満開で、農家さんは、これからクリスマスやお正月用に切り花の出荷に追われます。

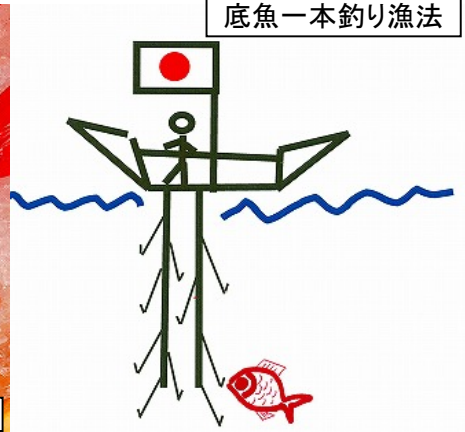
11月の漁業は、時化が多く出漁日が少なかったですが、11月の半ばには約200kgのクロマグロ(本マグロ)が水揚げされ、明るい話題で活気づいています。

■八丈島のキンメ

八丈島の周辺にはキンメダイの漁場があり、「底魚一本釣り」という漁法でキンメダイをていねいに釣り上げます。主に5月から12月にかけて水揚げされ、今年の漁獲量は約270トンでした。



キンメダイ



底魚一本釣り漁法

八丈島から出荷されたキンメダイは、都内の市場などで鮮度が良いと評判です。キンメダイは刺身や煮付け、干物など、いろいろな料理法で美味しく食べることが出来る魚で、とても人気があります。

■漁協女性部会長さんは、大忙し。

八丈島漁協女性部の山下会長は、全国漁協女性部連絡協議会の副会長も務めています。まさに日本の漁協の女性部の代表者です。このため、いろいろなところから講師に依頼されたり、

イベントや学校の出前授業で活躍中です。先日は東京の築地で、全国漁業協同組合連合会主催の「フレッシュ・ミズ」というイベント

で講師として招かれました。山下会長は、全国を飛び回っているので、加工場を留守にすることも多くなりました。でも、都内で仕事を終えると、翌朝早起きして、朝7時すぎの飛行機に乗って、島の加工場へ直行して作業につきます。そんなファイトあふれる山下さんは74歳になりますが、とても若くて元気です。11月30日には、日本の漁協女性部の代表としてベトナムへ向かわれました。



フレッシュ・ミズでの講演風景



山下会長